

---

# 大学教育学会ニュースレター

No.75 2007.4.11

---

大学教育学会 (Liberal and General Education Society of Japan)

事務局:北海道医療大学内 〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757

TEL0133-23-1487(直通)/FAX:0133-23-1487

郵便振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail:ungakkai@hoku-iryo-uac.jp

URL: <http://www.daigakukyoku-gakkai.org/>

---

## 「持続可能な社会と大学」によせて

大学教育学会第 29 回 (2007 年) 大会

大会実行委員長 松岡 正邦 (東京農工大学)

「持続可能な社会と大学」を総合テーマとして表記大会が東京農工大学の小金井キャンパスで開催されます。現在、「持続可能な社会」は理工系のみテーマではなく地球全体の将来を語る際に必ず用いられる言葉になってきました。もちろん科学・技術の急速な発展と人口の急激な増加が関連していますが、高等教育の場としての大学で、特に教育を通して、この問題に対してどのような対応をすべきか、どのような対応が可能かを真剣に考えることの重要性はいうまでもありません。理工農系の大学としてユニークな存在である農工大学で開催する大会としてこのテーマはごく自然に浮き上がってきました。

今回の大会は本学の大学教育センターの支援を得て、本学と共催で行います。同センターは平成 16 年度に大学院部局化と同時に設置されました。専任教員 5 名と兼務教員 12 名、事務職員 3 名で構成されており、教育プログラム、アドミッション、教育評価・FD の 3 部門があります。発足以来多くの調査研究、セミナー開催、大学教育ジャーナルの刊行、認証評価など外部評価への積極的な協力を通して本学の教育改善に努めてきました。今大会の実行委員会は同センター関連の教員を中心に構成され、センター活動の一環として行われています。

本大会は、企画委員会から提案された吉川弘之氏 (産業技術総合研究所理事長) による基調講演「持続性科学の使命」と二つのシンポジウム「持続可能な社会と教養教育」および「教育と研究を考える」に加えてこれまで通りのラウンドテーブルと自由研究を配置し、2 日間の計画を立てました。特に「持続性科学」を提唱されている吉川氏の講演を公開として、会員外の方にも参加いただけるようにしました。また、基調講演の前には、本学の小畑秀文学長の挨拶をいただきます。同学長はこれからの技術のあり方として「清貧の技術」を提唱して本学の理念である MORE SENSE の実現に向けて大学を率いて来ました。

ラウンドテーブルと自由研究の募集に対して、7 件のラウンドテーブルの企画と 56 件の自由発表の応募がありましたので、ラウンドテーブルは初日の午前中に 7 会場で、自由発表は 2 日目の午前中に 9 会場で開催することとしました。初日午前中のラウンドテーブルは 12 号棟の 1 階で開かれます。午後には講義棟の 2 階の 0026 講義室で総会、学長挨拶、基調講演、シンポジウム I と続きます。懇親会は場所を総合会館の食堂に移して行います。第 2 日の自由研究の発表会場は講義棟の 1 階から 3 階の講義室で開催されます。最後のシンポジウム II は再び 0026 講義室をうみます。

なお、会場的小金井キャンパスへは、JR 中央線の東小金井駅からゆっくり歩いて 10 分程度です。現在、東小金井駅は工事中のために、改札口を出た後は一旦北口に降りた後、地下の連絡道を通って南口に出なければなりませんので注意してください。多くの方の参加を期待いたします。

**大学教育学会 第29回 (2007年) 大会**  
**総合テーマ**  
**「持続可能な社会と大学」**  
**開催要領**

**1. 開催日時及び会場**

**期 日** : 2007年6月9日(土)～10日(日)

**会 場** : 東京農工大学小金井キャンパス 講義棟 (東京都小金井市)

**交 通**

- JR中央線(快速で東京より約45分、新宿より約30分)東小金井駅下車、徒歩約10分で東門に到着。なお、東小金井駅に、中央特快は、停車いたしません。

**2. 大会日程**

第1日 : 6月9日(土)

	9:00-9:30		12:00	13:00	14:00	14:20	15:50	19:00
受付	ラウンドテーブル	昼食	総会	学長挨拶	記念講演	シンポジウムI	懇親会	

第2日 : 6月10日(日)

	8:30	9:00		12:00	13:00	16:00	16:30
受付	自由研究発表	昼食	シンポジウムII	閉会			

**▲関連行事**

- 6月8日(金) 16:00～ 理事会および会食
- 16:00～18:00 ラウンドテーブル会場作り&打ち合わせ(任意)

**第1日 6月9日(土)**

9:00～ 受付

9:30～12:00 ラウンドテーブル(150分)

**テーブルI 「FDのダイナミクスー第一次調査のフォローアップと新たなモデル(その2)」**

**会 場** : 12号館 1211教室

**企画者** : 井下 理(慶應義塾大学総合政策学部)、絹川 正吉(国際基督教大学名誉教授)、  
田中 每実(京都大学高等教育研究開発推進センター)

**報告者** : 松下 佳代(京都大学高等教育研究開発推進センター)、  
加藤 かおり(新潟大学大学教育開発研究センター)、

溝上 慎一(京都大学高等教育研究開発推進センター)、本郷 優紀子(桜美林大学)

**企画概要** : 本課題研究の二年度のはじまりにあたり、以下の具体的な報告を行い、これらに関してフォーアの討論を行う。

- (1) ヒアリング調査等による個別大学のケーススタディを通して、これまでのFDの成果について検討するとともに、FDの課題と組織化の在り方を考察する。
- (2) 組織的なFDの在り方の一つの典型を示すイギリスの事例について報告する。
- (3) 学生の学びを中核に据えたFDの在り方について報告する。
- (4) 学生の学びを支援するためのSDとFDの融合について報告する。

## テーブルⅡ 「今、教養教育としての英語をどう考えるか」

**会場:** 12号館 1212 教室

**企画者:** 清水 亮 (三重中京大学現代法経学部)

**報告者:** 水光 雅則 (京都大学高等教育研究開発推進センター)、松本 茂 (立教大学経営学部)、  
深尾 暁子 (国際基督教大学)、佐々木 有紀 (国際教養大学国際教養学部)、

**指定討論者:** 山地 弘起 (メディア教育開発センター)

**企画概要:** 「英語が使える日本人の育成」の戦略構想を基に、2004年度、2005年度に現代GPのテーマとなった「仕事で英語が使える日本人の育成」で選定された大学・短期大学では、大学英語教育の改革が進行中である。同時に、GPへの応募の有無にかかわらず、多くの大学・短期大学の英語教育プログラムの改革が進んでいる。現在、大学に求められている英語教育とは何か?このラウンドテーブルでは、大学英語教育改革において、各大学が教養教育としての英語をどう位置づけ考えて、改革を推進してきたのかについて考えてみたい。英語がつなぐ国際社会を担う次世代を育成するためには、

(1) 英語力 (2) コミュニケーション力 (3) 仕事で必要とされる知識の体系・教養の育成が必要不可欠だと考えられるが、それぞれの大学が取組む英語教育改革の中で、教養教育としての英語教育は、これらの力を育成しうるものにかわりつつあるだろうか。英語教育と教育手法の観点から考えてみたい。

## テーブルⅢ 「FDを担当する人・組織に求められるもの—資質か専門性か」

**会場:** 12号館 1213 教室

**企画者:** 川島 啓二 (国立教育政策研究所)、佐藤 浩章 (愛媛大学教育・学生支援機構)

**報告者:** 川島 啓二 (国立教育政策研究所)、佐藤 浩章 (愛媛大学教育・学生支援機構)、  
藤田 哲也 (法政大学FD推進センター)、菊池 重雄 (玉川大学 コア・FYE教育センター)、  
神藤 貴昭 (徳島大学大学開放実践センター)

**企画概要:** 効果的で魅力あるFD活動を実行していくために必要な、企画・運営担当者に求められる力量とはなんだろうか。また、その力量はどのようにして獲得されるのだろうか、日々のFD活動における経験的知見の蓄積や熱意によって形成されるものなのか、それとも特別のトレーニングによって獲得されるべき「専門性」なのであろうか。さらに、FD担当者が活動の基盤とする組織のあり方はどうあるべきなのであろうか。本ラウンドテーブルにおいては、上記の二つの立場に対応する、私立大学と国立大学におけるそれぞれの事例から、FD担当者論・FD組織論を展開し、人と組織を含めたFDの実施体制の今後を展望することを試みる。

## テーブルⅣ 「大学体育の現状と課題」

**会場:** 12号館 1214 教室

**企画者:** 小林 勝法(文教大学国際学部)、奈良 雅之 (目白大学)

**報告者:** 師岡 文男(上智大学)、沼澤 秀雄(立教大学)、小林 勝法(文教大学)

**企画概要:** (社) 全国大学体育連合が行った最近の実態調査をもとにして、正課体育や課外スポーツ、体育のFDと点検評価活動の課題について議論する。

## テーブルⅤ 「一般教育の歴史的総括を試みる(その3)」

**会場:** 12号館 1215 教室

**企画者:** 志津木 敬 (FDアドバイザー)、林 俊夫 (四国学院大学)、上垣 豊 (龍谷大学)、  
武石 宣子 (和泉短期大学)

**報告者:** 竹下 賢 (関西大学法科大学院)、他に交渉中

**企画概要:** いわゆる大学の国際化の時代の課題の一つには、レイト・スペシャリゼーションが挙げられております。しかしそれは、学生の成熟の促進と同時に、専門の意味や質に関する再検討も含まれていることはいまでもありません。新制大学発足時期、一般教育に関しては、高等普通教育であると同時に、「専門教育を伴う自由教育」「職業教育を伴う自由教育」とも紹介されておりました。大学の国際化とは、一般教育の再検証が伴われるわけでもあります。ラウンドテーブル「一般教育の歴史的総括を

試みる(その3)」では、「現在の大学改革・大学教育改革と一般教育」と題して、1990年代から現在までの大学改革・大学教育改革との関連において一般教育を考えてみたいと思います。

#### **テーブルVI 「大学院教育と大学教員養成」**

**会場**：12号館 1216教室

**企画者**：夏目 達也(名古屋大学高等教育研究センター)

**報告者**：近田 政博(名古屋大学)、羽田 貴史(広島大学)、福留 東土(一橋大学)、川嶋 太津夫(神戸大学)

**企画概要**：大学院は教育と研究活動のほどきを通じて、研究者や高度職業人の養成を行っている。多くの場合、研究者は大学に就職し、大学教育としての職務に従事する。そのため、大学院教育でもこの点を考慮して、大学教員養成の機能を担うことが期待される。この点に関する取り組みは従来は不十分であったとはいえ、最近では大学院生を対象に、大学教員として求められる知識・技能を教授しようという動きも一部にみられる。本ラウンドテーブルでは、大学院教育における大学教員養成機能の拡充に関する可能性を検討する。これに関する取り組みについて報告するとともに、今後どのような取り組みが必要であり、また可能なのかを検討する。

#### **テーブルVII 「SDの新たな地平ー「大学人」能力開発に向けてー」**

**会場**：12号館 1217教室

**企画者**：佐々木 一也(立教大学 文学部)、今田 晶子(立教大学 大学教育開発・支援センター)、本郷 優紀子(桜美林大学)

**報告者**：今田 晶子(立教大学大学教育開発・支援センター)、秦 敬治(愛媛大学経営情報分析室)、関根 秀和(大阪女学院大学・大阪女学院短期大学学長)

**企画概要**：SDは、一般的には(教育外)職員の資質開発と捉えられてきたが、当学会の2004年度課題研究集会シンポジウムテーマ「教学支援と大学改革ーFD、SDからPD(Professional Development)へ」に見られるように、それは、FDと融合しつつ相互に相俟って、大学の教育充実を実現する道筋の上にあると考えられる。この考えに立ち、本ラウンドテーブルでは、SDとFDの重なる部分に着目し、それに関するDevelopmentを「『大学人』能力開発」と呼ぶことにした。そして、この開発方法にSDの側からアプローチするのが企画者の意図である。今回は研究の端緒として、私学で職員の側から教学改革に携わった経験と、私学と国立の両方で大学運営に関った2人の実践者からの報告と問題提起を基礎に、「教員」「職員」の呼称を排して大学・短大経営を進めている会員からの研究課題提案を得て、今後の「大学人」能力開発研究の枠組み形成の原点を得たい。

**昼食 12:00~12:50** (シンポジウムI 打ち合わせ)

**総会 13:00~13:50**

**議長**：寺崎昌男学会長

**会場**：講義棟 0026教室

**基調講演 14:00~15:40**

**会場**：講義棟 0026教室

**挨拶**：小畑 秀文 東京農工大学学長

**司会**：松岡 正邦 東京農工大学・大会実行委員長

**演題**：「持続性科学の使命」

**講師**：吉川 弘之 産業技術総合研究所理事長

## シンポジウム I : 15:50~18:50 「持続可能な社会と教養教育」

会場：講義棟 0026 教室

**企画概要：**これまでの大学教育は、それぞれ独立性の高い閉じた系としての専門領域に依拠して行われる傾向があった。これからの社会は、全体として整合性のある持続可能な開発を可能とする新しい科学と、自然と社会のダイナミックな相互作用をその中に組み込んだ新しい学問を必要としている。このような社会的要請に応えるために、大学の各専門領域はそれぞれが果たす役割と相互の関係を見直し、適切な発展の方向を模索している。それと同時に、幅広い総合的な視野を獲得するための教養教育が果たす役割がますます重要になっている。このシンポジウムは、教養教育としての生物学、持続可能な社会を目指した教養教育、次の世代の科学哲学等について問題提起を行い、時代の精神に応える新しい教養教育とは具体的にどのようなものであるかを議論する。

**企画者：**小笠原 正明（東京農工大学）

**シンポジスト：**柄内 新（北海道大学）、玉 真之介（岩手大学）、戸田山 和久（名古屋大学）

**指定討論者：**亀山 純生（東京農工大学）

懇親会 19:00~20:30

会場：生協第二食堂

## 第2日 6月10日（日）

受付：8:30~

自由研究発表： 9:00~12:00（180分）

### 自由研究 I 初年次教育

司会：濱名 篤（関西国際大学）、福留 東士（一橋大学）

会場：講義棟 0011 教室

9:00~9:20 初年次教育改善への組織的展開—学生の自己評価を PDCA サイクルに活用する試み—  
山田 剛史・田中 正弘（島根大学教育開発センター）

9:20~9:40 授業に先立って学生へのアセスメントをどう行うか—初年次教育とのかかわりの中で—  
川廷 宗之（大妻女子大学）

9:40~10:00 大学初年次生にみられる書く技量の過小な自己評価  
渡辺哲司（九州大学高等教育開発推進センター）

10:00~10:20 医学部初年次における PBL 導入教育  
仙石 昌也（愛知医科大学医学部）

10:20~10:30 （休憩）

10:30~10:50 大学生の動機づけとクリティカルに考えようとする志向性（3）—1年次における変容に焦点をあてて—  
中西 良文（三重大学高等教育創造開発センター）

10:50~11:10 初年次教育における「論文の書き方」指導を考える  
東谷 護（成城大学共通教育研究センター）

11:10~11:30 初年次外国語教育に特化した授業デザインの循環的評価—現場教師と協働するメンターという新しい役割—  
森 朋子（関西大学英語教育連関センター）

11:30~11:50 （総合討論）

## 自由研究Ⅱ 成績評価・授業評価

司会：安岡 高志（東海大学）、調 麻佐志（東京農工大学）

会場：講義棟 0012 教室

9:00～9:20 成績評価の難易度と形式的評価が受講生の学習に与える影響

西垣 順子（大阪市立大学大学教育研究センター）

9:20～9:40 授業評価における CS 分析に基づいた改善度指標の特性について

南 学（三重大学教育学部）

9:40～10:00 Triangulation Method による授業評価

津田 信男（甲南大学）

10:00～10:10 （休憩）

10:10～10:30 中国語の学習成果を左右する要素の分析

竹中 佐英子（目白大学外国語学部）

10:30～10:50 自由記述による授業評価の分析から何を求めるか

向後 千春（早稲田大学人間科学学術院）

10:50～11:10 授業評価の結果のフィードバックを活用するために—結果活用に関する予備的調査—

栗田佳代子（大学評価・学位授与機構）

11:10～11:40 （総合討論）

## 自由研究Ⅲ アドミッション・地域連携

司会：本郷 優紀子（桜美林大学）、出光 直樹（横浜市立大学）

会場：講義棟 0013 教室

9:00～9:20 入学者選抜方法による大学教育への期待の相違—AO 入試による入学者に着目して—

望月 由起（横浜国立大学大学教育総合センター）

9:20～9:40 へき地における高大連携のあり方に関する一考察—離島における出前講座の取組を中心に—

西本 裕輝（琉球大学大学教育センター）

9:40～10:00 “オープンキャンパス” の誕生

小島 理絵（桜美林大学大学院）

10:00～10:20 大学教育における”接続”と”連携”—その違いとバランス—

中村 博幸（京都文教大学人間学部）

10:20～10:40 地域連携を通じた教育と教育を通じた地域連携

杉原 真晃（山形大学高等教育研究企画センター）

10:40～10:50 （休憩）

10:50～11:10 教養教育科目を活用した高大連携—成果と課題—

山岸 みどり（北海道大学高等教育機能開発総合センター）

11:10～11:30 大学情報の社会的ニーズについて—高校業界のニーズとは？—

斎藤 聖子（大学評価・学位授与機構）

11:30～11:50 （総合討論）

## 自由研究Ⅳ 大学職員・学生支援

司会：佐々木 一也（立教大学）、小笠原 正明（東京農工大学）

会場：講義棟 0022 教室

9:00～9:20 医療・福祉専門職養成課程の学習指導上の課題

細川 つや子・横山 奈緒枝・難波 悦子（吉備国際大学）

- 9:20～9:40 教員の教育相談が学習意欲など大学生活に与える影響について  
見館 好隆・永井 正洋・上野 淳 (首都大学東京基礎教育センター)
- 9:40～10:00 米国における学生支援の専門分化に関する研究  
小貫 有紀子 (広島大学大学院)
- 10:00～10:10 (休憩)
- 10:10～10:30 科目間連携を意図した Web サイト構築—非常勤講師と教務課との連携—  
筒井 洋一 (京都精華大学人文学部)
- 10:30～10:50 大学教育の質向上のための大学職員の役割—『ティップス先生からの7つの提案〈教務  
学生担当職員編〉』の開発—  
中井 俊樹・夏目 達也・近田 政博・鳥居 朋子 (名古屋大学高等教育研究センター)
- 10:50～11:30 (総合討論)

### 自由研究 V FD・教員評価

司会：橋本 勝 (岡山大学)、夏目 達也 (名古屋大学)

会場：講義棟 0023 教室

- 9:00～9:20 大学体育FD推進校表彰制度の発足の経緯と現状、課題  
小林 勝法 (文教大学国際学部)
- 9:20～9:40 大学講義科目としての保健理論に関するFD活動のあり方  
奈良 雅之 (目白大学)
- 9:40～10:00 大学教員研修(FD)のためのeラーニングコンテンツ試作  
加藤 由香里 (東京農工大学大学教育センター)
- 10:00～10:20 自己評価から教育改善へ—自由記述分析による阻害要因の検討—  
串本 剛 (首都大学東京基礎教育センター)
- 10:20～10:30 (休憩)
- 10:30～10:50 アメリカの大学における大学教員評価制度に関する一考察—テキサス大学エルパソ校  
を一事例として—  
吉田 武大 (金沢大学大学教育開発・支援センター)
- 10:50～11:10 学習中心のFDプログラム開発—英国の学習教育ワークショップをモデルとして—  
加藤 かおり (新潟大学大学教育開発研究センター)
- 11:10～11:30 教員養成の質保証に関する研究  
高森 智嗣 (広島大学高等教育研究開発センター)
- 11:30～11:50 (総合討論)

### 自由研究 VI 学士課程教育・教養教育

司会：青野 透 (金沢大学)、亀山 純生 (東京農工大学)

会場：講義棟 0024 教室

- 9:00～9:20 研究大学における学士課程教育—米国スタンフォード大学の改革事例を参考に—  
渡利 夏子 (東北大学高等教育開発推進センター)
- 9:20～9:40 学士課程教育における基幹科目同定の試み  
半田 智久 (静岡大学大学教育センター)
- 9:40～10:00 教養教育に対する学生意識の経年変化：首都大学東京の全学共通科目の2カ年を事例と  
して  
舂本 直文・串本 剛・永井 正洋・上野 淳 (首都大学東京基礎教育センター)
- 10:00～10:10 (休憩)
- 10:10～10:30 新しい形の教養教育の模索—星城大学経営学部「文化教養ゼミⅠ・Ⅱ」の試み—  
加藤 知子・神野 真寿美 (星城大学経営学部)

- 10:30～10:50 橋本メソッド導入による基礎導入科目の学生参画型授業改善―「政治学の基礎」―  
清水 亮（三重中京大学現代法経学部）
- 10:50～11:10 学生の学びの目標と大学教育像の模索  
新村 洋史（中京女子大学健康科学部）
- 11:10～11:40 （総合討論）

### 自由研究 VII 自然科学基礎・サイエンス・リテラシー・教育工学

司会：秀島 武敏（桜美林大学）、細川 敏幸（北海道大学）

会場：講義棟 0025 教室

- 9:00～9:20 文系学生に対する科学実験教育の試み―八戸工業大学感性デザイン学部におけるサイエンス基礎実験の取り組み―  
安部 信行・目 修三（八戸工業大学）
- 9:20～9:40 工業大学における基礎物理の授業改善の試みと授業評価の分析  
西田 昌彦（金沢工業大学基礎教育部）
- 9:40～10:00 言語表現教育システムの開発―オーサリングシステム―  
松永 公廣（摂南大学）
- 10:00～10:10 （総合討論）
- 10:10～10:30 学生による科学啓発活動とその教育的役割  
四方 周輔（北海道東海大学工学部）
- 10:30～10:50 ICT 活用に対する大学生の実態と意識  
林 一夫（メディア教育開発センター）
- 10:50～11:10 ハイブリッド PBL（問題に基づく学習）の実践に向けて  
宇田 光（南山大学総合政策学部）
- 11:10～11:40 （総合討論）

### 自由研究 VIII コミュニケーション

司会：山内 正平（千葉大学）、吉永 契一郎（東京農工大学）

会場：講義棟 0032 教室

- 9:00～9:20 大学教養教育における対人コミュニケーション能力の意義  
勝又 恵理子（桜美林大学）
- 9:20～9:40 教育方略および言語学の観点からの医療系大学表現技術系科目の改善案  
三原 祥子（東京女子医科大学医学部）
- 9:40～10:00 異文化混成クラスにおけるブック・トークとポスター発表を通じた意見の構築  
大島 弥生（東京海洋大学海洋科学部）
- 10:00～10:10 （休憩）
- 10:10～10:30 導入転換科目「オープニング・セミナー」を中心としたコミュニケーション教育  
川守田 礼子（八戸工業大学感性デザイン学部）
- 10:30～10:50 自己表現・評価トレーニング（SHING Iメソッド）における新しい役割の可能性  
高橋 真義（桜美林大学大学教育研究所）
- 10:50～11:10 大学における「聴く力」を養う取り組み  
穂田 照子（桜美林大学文学部）
- 11:10～11:40 （総合討論）

## 自由研究 Ⅹ キャリア教育・歴史

司会：加澤 恒雄（広島工業大学）、山田 礼子（同志社大学）

会場：講義棟 0035 教室

9:00～9:20 誰が「キャリア教育」を受けるのか？－「キャリア教育」におけるインセンティブ・  
ディバイド－

葛城 浩一（香川大学大学教育開発センター）

9:20～9:40 双方向で進める大学生のキャリア形成

田中 均（山口大学アドミッションセンター）

9:40～10:00 キャリアデザイン力支援とゲーミング・シミュレーション

渡邊 席子（大阪市立大学大学教育研究センター）

10:00～10:10 （休憩）

10:10～10:30 大学教育における視学委員制度省察

林 透（桜美林大学大学院）

10:30～10:50 江戸幕府の教養のレベル－幕末の外交手腕から見えてくるもの－

加藤 恒男（中京女子大学健康科学部）

10:50～11:10 大学一般教育研究会の全国的組織化における不成立に関する考察

志津木 敬（FDアドバイザー）

11:10～11:40 （総合討論）

**昼食 12:00～12:50** （シンポジウムⅡ打ち合わせ）

## シンポジウムⅡ 13:00～16:00 「教育と研究を考える」

会場：講義棟 0026 教室

**企画概要：**大学における教育力の強化がいわれている。しかし、それは大学が研究をおろそかにしていないことを意味するものではない。一方で大学に対する研究力の向上の要請も、強まっている。そして、そもそも研究に裏打ちされない教育など、大学教育ではないという考えもある。この問題に関するこれまでの議論は、教育については、教員にとって具体的に一定量の時間を費やす必要のある行為としてのティーチングと、例えば学生を研究に巻き込むことによっても成り立つ包括的な概念としてのエデュケーションとの区別もなしになされてきた。また、研究についても、狭い意味でのリサーチにのみ関心が集中し、教員の創造的活動全体を見通した、また分野の特性に配慮した議論とはなっていなかった。本シンポジウムでは、上記の問題状況を踏まえ、大学における教育と研究の関係を根本から整理し、問い直す。

**企画者：**舘 昭（桜美林大学）

**シンポジスト：**永宮 正治（高エネルギー加速器研究機構）、安岡 高志（東海大学）、  
飯吉 弘子（大阪市立大学）

**会長閉会挨拶・次期会場挨拶 16:00～16:30**

## <大会参加要領>

1. **大会参加申込及び参加費払込** 大会に参加される方は、①～③のいずれかの方法で参加登録をお願いいたします。申込締切は**4月27日(金)**とします。また、参加費は参加者一名につき振替用紙一枚でご入金ください。領収書は、大会当日に受付でお渡しします。

① FAX：同封の参加申込用紙を、**042-367-5557**（東京農工大学学務）にご送付ください。

② 郵便：同封の参加申込用紙を、

〒183-8509 府中市幸町3-5-8

東京農工大学 大学教育センター内 大学教育学会第29回大会事務局 にご送付ください。

③ E-mail：参加申込用紙の各項目を、**ched@cc.tuat.ac.jp** にご送付ください。

**参加費等 \*大会参加費（発表要旨集録を含む）個人会員 5,000円（事前割引 4,000円）**

**学生会員 3,000円**

**\*懇親会費 5,000円（事前割引 4,000円）**

**\*弁当代（6月9日） 1,000円**

**\*弁当代（6月10日） 1,000円**

---

**\*『発表要旨集』のみ（送料込み） 2,500円**

・非会員の方も参加できます。「参加申込書」のコピー、郵便局備え付けの振替用紙等をご利用になり、上記と同様の手続きをしてください。

・当日の参加申込みも可能ですが、準備の都合上、是非とも事前手続きにご協力ください。事前割引は、**5月11日(金)**までに振込みが完了した場合に適用いたします。

・お払込みの大会参加費等は、理由を問わず返却いたしません。予めご協力ください。大会参加費等を払込みながらご欠席の場合は、後日、発表要旨集録をお送りいたします。

・宿泊につきましては、下記のホテルが「大学教育学会」参加の旨を伝えた場合、10%オフとなっています。いずれも、JRの駅に立地しており、シングル・朝食付きの場合の通常価格は、9000円です。各自、直接お申込み下さいますようお願いいたします。

**ホテルメッツ 武蔵境** TEL：0422-32-5111 FAX：0422-32-5110（所在地：武蔵野市境南町2-1-8）

**ホテルメッツ 国分寺** TEL：042-328-6111 FAX：042-328-6110（所在地：国分寺市南町3-20-3）

・大会当日の受付には、大会関係の他、学会事務局の受付を置き、入会申込み、未納会費納入、会誌バックナンバー・学会出版物の頒布等を行っています。

・土曜日、日曜日とも大学生協食堂は営業していませんので、できるだけお弁当をお申し込み下さい。

・会場には、駐車スペースはありません。

## 2. 振替口座

・会員の方は、同封の振替用紙をご利用いただくと便利です。学会の年度会費の振替用紙とは別になっていますので、ご注意下さい。

口座名：大学教育学会第29回大会

口座番号：00180-7-706229

## 3. 自由研究発表・ラウンドテーブル発表者の方々

・発表に際して配布する資料等は、各自でご用意ください。

・各会場にプロジェクトは準備いたしますが、PCは各自でご用意ください。

## 4. 大会ポスター

・今回の大会については、A2版のポスターを準備いたしましたので、掲示をお願いします。

近日中に、機関会員に送付いたします。

## ＝事務局から＝

### ● 会費納入のお願い

今年度(2007年度)の会費の請求書、郵便払込取扱票を同封させていただきました。また、過年度の会費、会誌代が未納の方々にはその分も加算した請求書とさせていただきます(行き違いの場合は、ご容赦のうえ、事務局までご連絡ください。)ので、**5月31日(木)**までにご入金ください。領収証につきましては、郵便払込票の受領証をもって替えさせていただきます。

なお、今回は学会大会参加申込用の郵便払込取扱票も同封されていますので、お間違えのないようご注意ください。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金はなるべく同封の郵便払込取扱票をご利用ください。やむを得ず、銀行からご入金を希望される場合は、お手数でもご入金前に必ず事務局までその旨ご連絡ください。

### ● 住所変更等の届出について(お願い)

4月になり、所属変更およびそれにもなう転居をされる方も多と思います。何かとお忙しいと思いますが、事務局への登録内容変更の届出につきましても速やかにお願いいたします。

### ● 学生会員でご登録のみなさまへ

ご入会の際、学生会員で入会された場合は、就職後、その旨ご連絡くださいますようお願いいたします。学生会員から個人会員へと登録内容を更新させていただきます。

### ● 入会リーフレットについて

本会設立の趣旨及び活動内容を示した「入会案内」を作成いたしました。入会申込書とセットで用意しておりますので、必要な方は随時、事務局までご連絡ください。

### ● 2007年度課題研究集会について

2007年度課題研究集会は12月1日(土)～2日(日)に龍谷大学(京都府京都市)で開催予定です。

### ● 販売内容のご案内

▼ ご購入希望がある場合は、その旨、事務局までお申し出ください。

No.	販売内容	価格(税込)	送料
1	『あたらしい教養教育をめざして』	3,045円	別途
2	学会誌バックナンバー	各3,500円	別途
3	学会誌バックナンバーCD-ROM (創刊号～第22巻第2号まで収録)	5,000円	別途

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757 北海道医療大学内  
大学教育学会事務局 事務局長 小野 滋男  
TEL&FAX 0133-23-1487  
e-mail [ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp](mailto:ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp)  
<http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

# 大学教育学会第 29 回大会（2007 年）参加申込書・要旨集申込書

〒183-8509 府中市幸町 3-5-8 東京農工大学大学教育センター  
大学教育学会第 29 回大会実行委員会 行

**Fax: 042-367-5557 (学務)**

Tel: 0463-357-5545

e-mail : ched@cc.tuat.ac.jp

**注:トラブルを避けるために、まとめてのお申込ではなくお一人様一枚でお申込ください。**

ふりがな

氏名: \_\_\_\_\_

会員区分: (いずれかに○) : 1. 会員 2. 非会員

所属機関: \_\_\_\_\_

連絡先: (所属機関・自宅) ・要旨集送付先

住所: 〒 \_\_\_\_\_

電話: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_

e-mail: \_\_\_\_\_

参加費等 (該当項目に○印をつけてください)

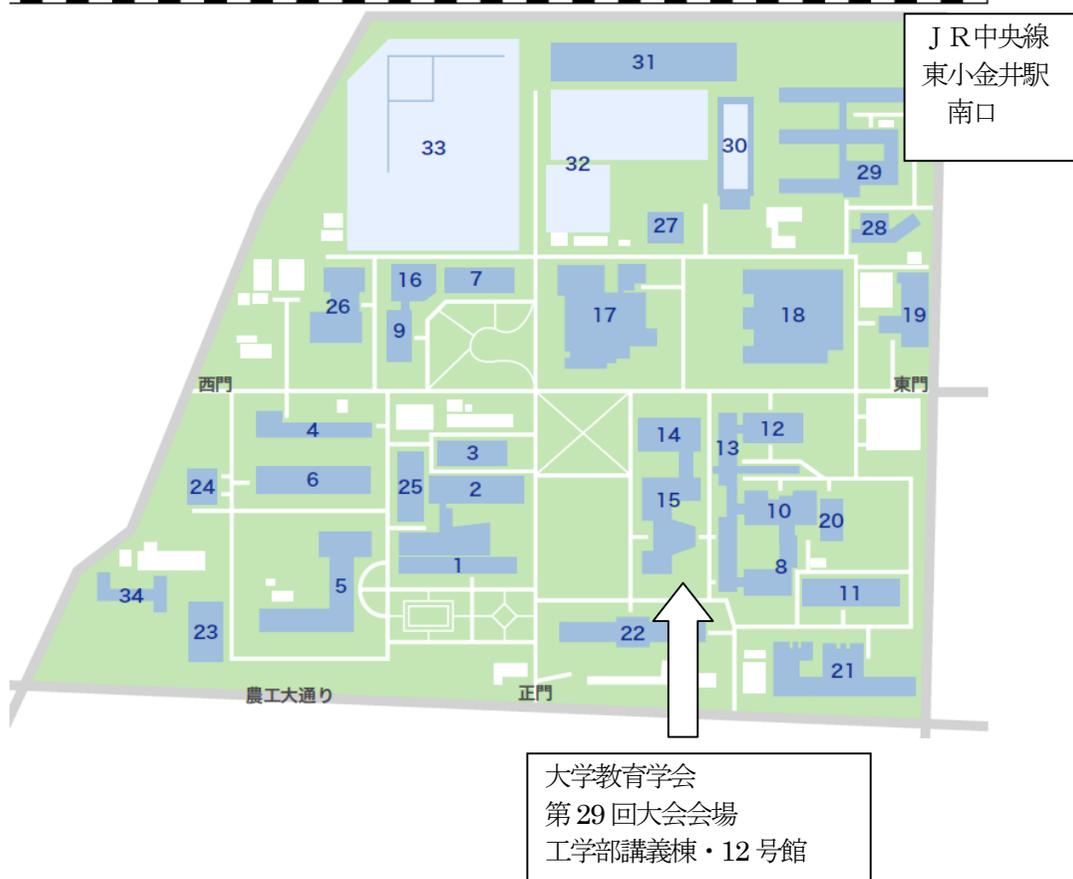
○印	項目	金額	備考
	参加費 (含: 発表要旨集)	4000 円	5000 円 (5/12 以降)
	懇親会費	4000 円	5000 円 (5/12 以降)
	『発表要旨集録』のみ (送料込み)	円	
	1 部 2500 円	( 部)	
	弁当代 (6月9日)	1000 円	
	弁当代 (6月10日)	1000 円	
	合 計	円	

# 小金井キャンパスマップ

至 武蔵小金井

JR 中央線

至 東小金井



## 大会事務局

〒183-8509

東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学 大学教育センター内

TEL: 042-367-5545

FAX: 042-367-5557

E-mail: ched@cc.tuat.ac.jp

URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>